

# (仮称)世田谷区立二子玉川公園基本計画 〈概要版〉



平成22年6月  
世田谷区

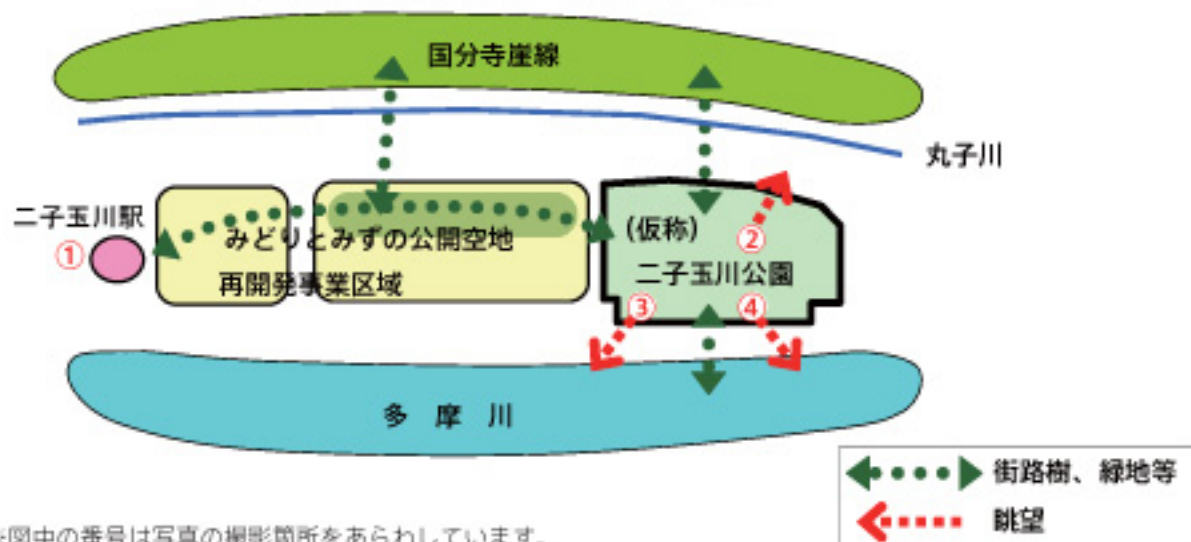
# 1 はじめに

公園の計画地は、区の中心的商業地域で、東京の西の玄関口でもある「広域生活拠点」の二子玉川駅周辺の南東に位置しています。周辺には、国分寺崖線の「みどり」や多摩川の「みず」などの自然があり、さらには、富士山や丹沢山系等の「山並み」を望むことができるなど、恵まれた自然環境を身近に感じることができる、区内でも数少ない場所です。

これらの環境を活かしながら、二子玉川駅と周辺のみどりを結ぶ「みどりとみずのネットワーク（下図参照）」の拠点として整備することで、四季を感じ、多様な生物が生息できる魅力ある自然環境を備えた公園を整備します。

公園を震災時の広域避難場所である多摩川河川敷と一体的に整備することにより、「防災環境」の向上を図ります。また、子どもがのびのびと安全に遊べる場、高齢者の憩いの場や区民の健康づくりの場、地域イベントが開催できる交流の場などを配置することで「子育て支援」、「生涯現役社会」や「地域の活性化」などにも寄与できる公園づくりを目指します。

## <みどりとみずのネットワークのイメージ>



※図中の番号は写真の撮影箇所をあらわしています。



① にぎわいの拠点（二子玉川駅周辺）



② 国分寺崖線への眺望



③ 富士山、丹沢山系への遠景眺望

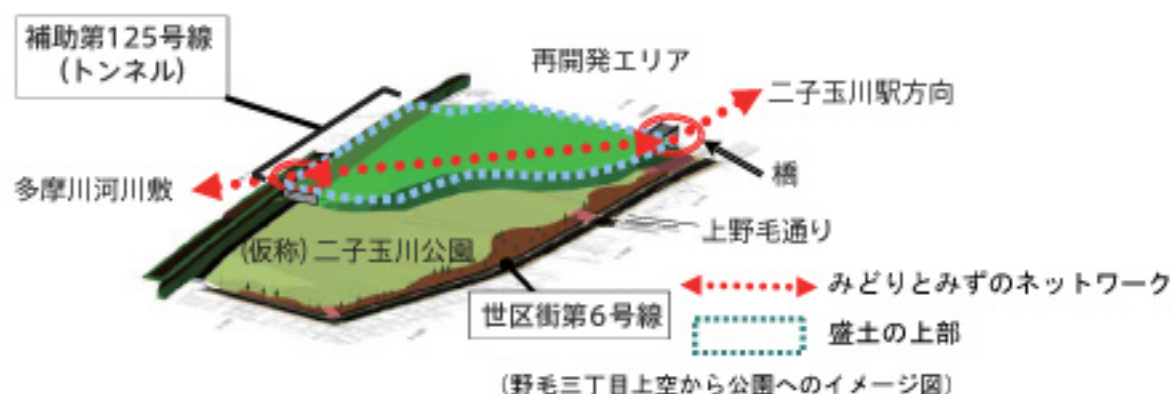


④ 多摩川河川敷への眺望

## 2 公園の基本構成

### (1) 敷地造成計画

- ①補助第125号線(トンネル)の上部を公園にして、公園と多摩川河川敷の一体性を確保します。
- ②多摩川河川敷(広域避難場所)への安全な歩行者空間確保のため、敷地の一部を盛土します。
- ③盛土の上部には、多摩川、国分寺崖線、富士山などの眺望をゆっくりと楽しめる広場空間(平坦部)を確保します。

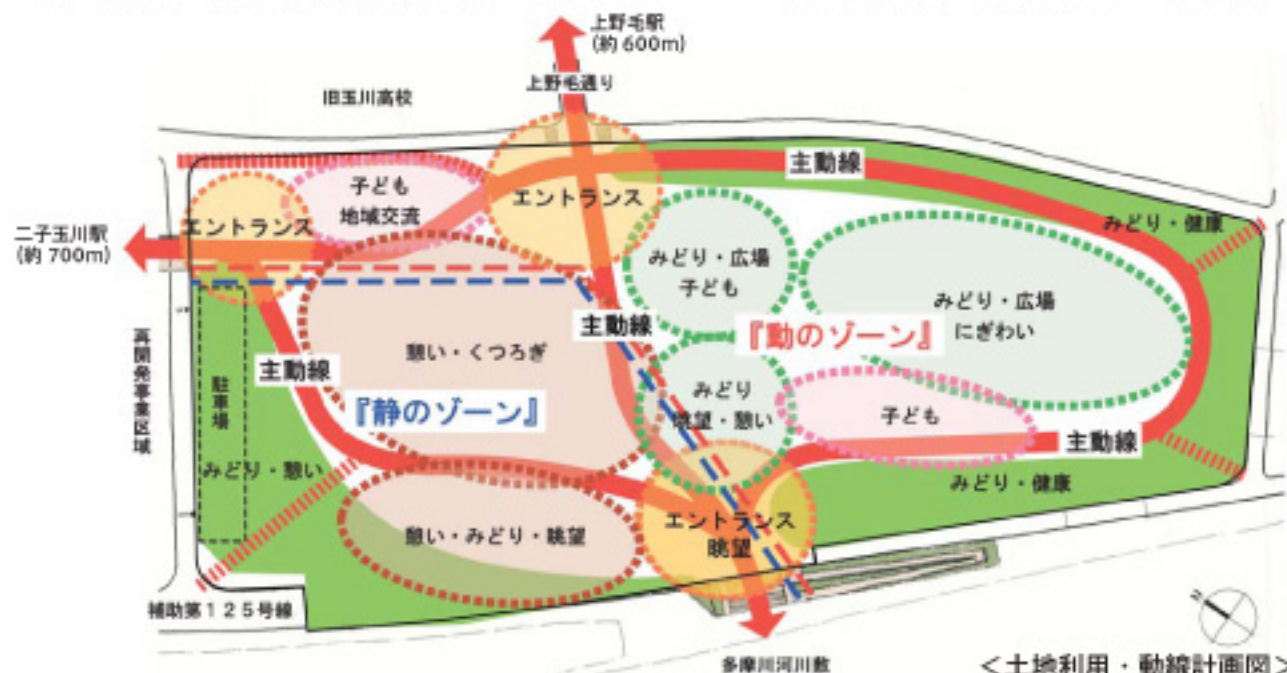


### (2) 土地利用計画

- ①公園内は「動のゾーン」(地域交流、子どもの遊び場、広場等を中心とした「にぎわいの空間」)と「静のゾーン」(富士山や国分寺崖線等への眺望を活かすとともに、多摩川とのつながりも考慮した落ち着いた「憩い・くつろぎの空間」)の大きく二つのゾーンに分けます。
- ②公園周辺住宅に配慮した公園づくりをします。(例:公園外周に騒音等を軽減する緩衝緑地の設置等)
- ③主要なエントランスは、二子玉川駅方面、上野毛駅方面、多摩川河川敷方面とします。

### (3) 動線計画

- ①主要なエントランスを相互に結びるとともに、公園内を大きく回遊できる主動線を設けます。
- ②主動線と、ゾーン内の各施設や主要なエントランス以外の出入口をサブ動線をつなぎます。
- ③主動線、サブ動線は、誰もが歩きやすいユニバーサルデザインで設置していきます。



### 3 公園整備の基本的な考え方と整備の視点 / 基本計画図

#### <公園イメージスケッチ>



① 二子玉川駅方面エントランス上空からの眺め

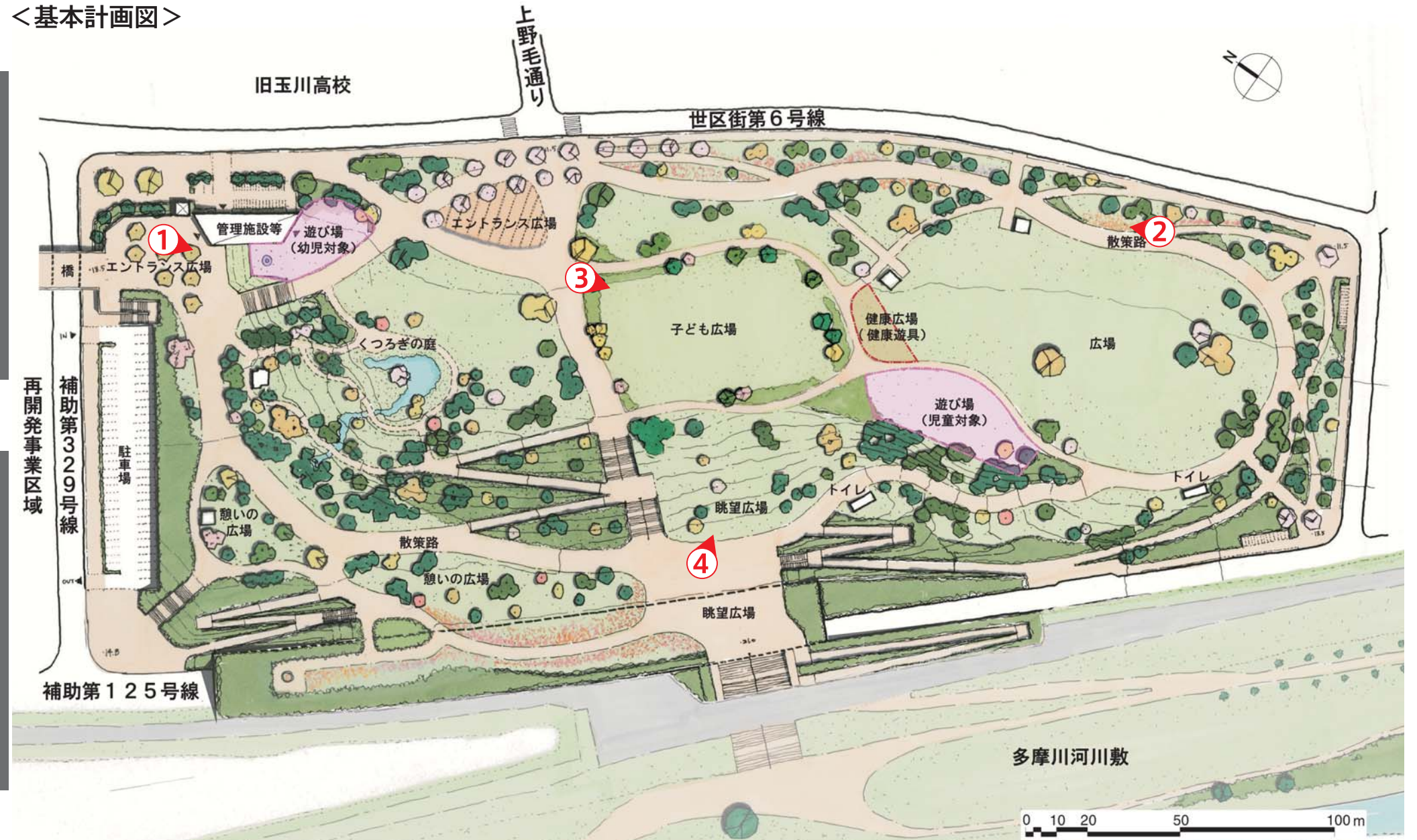


② 防犯性にも配慮した見通しの良い散策



③ ボールを使った遊びもできる子ども広場

#### <基本計画図>



④ 眺望広場上空からの国分寺崖線方向への眺め

#### 基本的な考え方と整備の視点

- (1) 安全・安心の公園づくり：  
震災や水害時の緊急利用、防犯性の高い公園づくり
- (2) 人々が集いふれあえる交流の空間づくり：  
イベントにも活用できる場の整備
- (3) みどりとみずをつなぐネットワークづくり：  
みどりとみずの拠点、眺望空間の整備
- (4) 憩いと健康の空間づくり：  
憩いの空間づくり、庭園の整備、健康施設の整備
- (5) 子どもがのびのびと遊べる空間づくり：  
遊具、水遊び、ボール遊びなど多様な遊び場の整備

## 4 整備イメージ

### (1) 安全・安心の公園づくり

- ① 発災後に避難滞留できる広場空間、防災施設の配置
- ② 雨水流出抑制施設（貯留施設又は浸透施設）の整備による治水対策
- ③ 適切な照明配置による夜間照度の確保 等



災害用マンホールトイレ

※災害時に仮設トイレを上部に設置できる下水道直結型のマンホールのこと。



雨水貯留施設の例

※写真は工事途中のもの。

### (2) 人々が集い・ふれあえる交流の空間づくり

- ① イベントが開催できる場の整備
- ② 地域住民の活動や地域のイベントをサポートできる活動拠点の整備
- ③ 公園管理等施設と連携した屋内と屋外で一体的に利用できる空間の整備 等



地域のイベントの場



施設と連携したにぎわいの場

### (3) みどりとみずをつなぐネットワークづくり

- ① 「多摩川河川敷と川の流れ」、「国分寺崖線」、「再開発事業区域のみどりとみずの公開空地」及び「丸子川」を結ぶ「みどりとみずの拠点」の整備
- ② 野鳥や昆虫、植物を通して四季を感じることが出来る植栽地、水辺空間の整備
- ③ 富士山や丹沢山系等の山並みを遠望する景観、国分寺崖線の連続するみどり、開放的な多摩川を眺望できる空間の整備 等



富士山、丹沢山系への遠景眺望



みどりの広場

## (4) 憩いと健康の空間づくり

- ①敷地の高低差を活かした水の流れや鑑賞用の池、休憩施設がある庭園の整備
- ②国分寺崖線や多摩川・富士山等を眺望できる木陰のある広場の整備
- ③多摩川河川敷との一体的利用を想定したジョギング、ウォーキング、体操など日常的に健康づくりができる施設の整備 等



ゆっくりくつろげる庭園



健康遊具のある場



木陰のある場

## (5) 子どもがのびのびと遊べる空間づくり

- ①子どもがのびのびと遊べる広場の整備
- ②「遊具のある場」、「水遊びのできる場」「自然とふれあえる場」、「ボール遊びができる場」など、多様な遊び場の整備
- ③自然環境を考え、学ぶ場としての遊び場の整備
- ④公園管理等施設の屋内空間と連携した“子どもの居場所”の整備 等



自然とふれあえる場



水遊びのできる場



遊具のある場

## (6) その他の施設

### ①公園管理等施設

公園の円滑な利用を維持し、増進するため、公園管理等施設を設置します。

### ②駐車場

位 置：公園北西部、補助第329号線沿い

駐車台数：60台程度（身障者用駐車場2台）

### ③駐輪場

公園の主な入口付近に自転車等の駐輪場を設置します。

### ④トイレ

ユニバーサルデザインに配慮した構造とし、園内に3箇所以上のトイレを設けます。

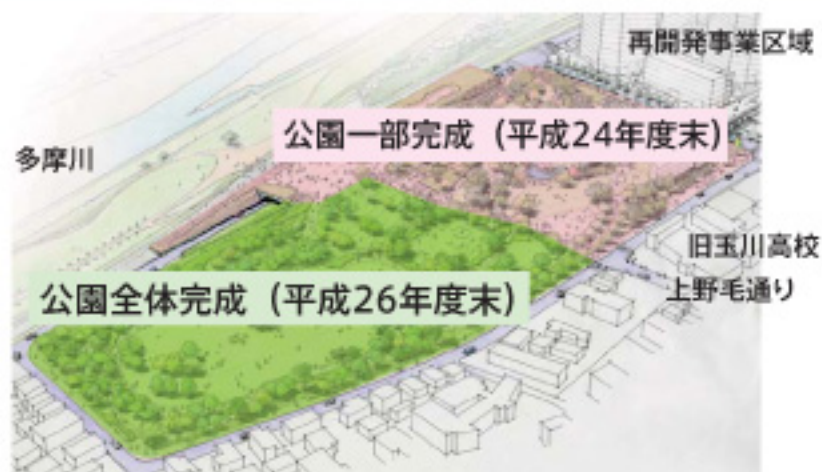
## 5 公園の概要

- ・名称：(仮称) 二子玉川公園
- ・所在地：世田谷区玉川一丁目 16 番、上野毛二丁目 27・28 番
- ・公園面積：約 6.3 ヘクタール
- ・都市計画：昭和 32 年 12 月都市計画決定



## 6 今後のスケジュール (予定)

平成22年度	ワークショップによる具体的な公園施設の検討		
平成23年度	ワークショップなどでの意見を踏まえ、区が設計図を作製		
平成24年度 以降	整備工事 (平成23年度～平成26年度末)	公園一部完成 (平成24年度末)	公園全体完成 (平成26年度末)



### 編集・発行

世田谷区 生活拠点整備担当部 二子玉川施設整備課

住所 〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27

電話 03-5432-2513

FAX 03-5432-3107

ホームページ

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00019688.html>



区制 100 周年 (2032 年) に  
みどり率 33% の達成を目指し  
ます。